

夢見ヶ崎動物公園で飼育しているヨウムの盗難について

令和3年7月4日、清掃作業のためインコ舎に入った職員が、インコ舎出入口の鍵が壊され、飼育していたヨウム1羽がいなくなっているのを発見しました。インコ舎の内部の様子から、盗難にあった可能性がありますのでお知らせします。

1 事件の概要

(1) 発覚日時

令和3年7月4日（日）10:15頃

(2) 被害状況

- ・ インコ舎出入口の施錠用金具の破損
 - ・ ヨウム（オウム目インコ科）1羽の所在が不明
- ※ヨウムとはアフリカ原産で体長約30cmの大型のインコで知能が非常に高く、人の言葉をよく覚える鳥です。

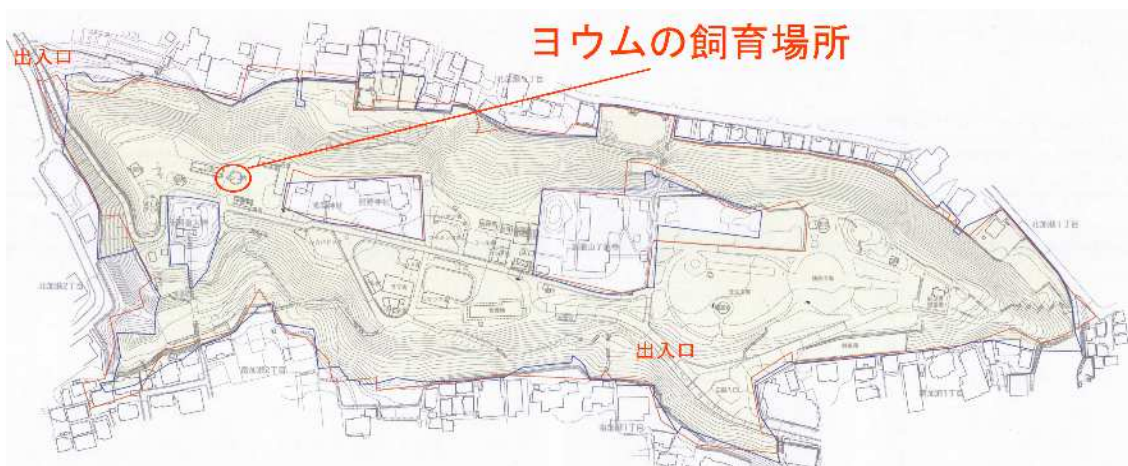


2 市の対応

令和3年7月4日、幸警察署に通報し現場検証を行いました。被害届につきましては早急に提出する予定です。

また、被害を受けたインコ舎につきましては、出入口の施錠を二重にするなど、セキュリティを強化しました。その他の獣舎を含めた、さらなるセキュリティ強化については、今後検討してまいります。

【夢見ヶ崎動物公園平面図】



【お問合せ先】

川崎市建設緑政局緑政部夢見ヶ崎動物公園 村木担当
電話 044-588-4030